

**令和7年度 山形県公立大学法人
第4回経営審議会
第5回教育研究審議会（米沢女子短期大学）
議事録**

1 日 時 令和8年1月19日（月） 14:05～15:00

2 場 所 B号館 2階会議室

3 出席者

<経営審議会>

（出席） 学内委員：阿部理事長、大和田理事、小原理事、松井理事、小池理事、星理事
学外委員：加藤理事、清野理事、宮原委員、黒田（三）委員
※委員10名中10名出席、定款第16条第3項の規定により会議成立。
なお、同条第1項の規定により阿部理事長を議長とする。

<教育研究審議会（米沢女子短期大学）>

（出席） 学内委員：阿部学長、松井理事、小池理事、吉田委員、西川委員
学外委員：清野理事、黒田（充）委員、結城委員
※委員8名中8名出席、定款第20条第3項の規定により会議成立。
なお、同上第1項の規定により阿部学長を議長とする。

<監事>

（出席） 羽生田監事
（欠席） 高石監事

<事務局職員>

（出席） 鈴木次長、佐々木課長、佐藤課長、松本専門員

4 議事録署名人の指名

阿部理事長から、黒田（三）委員（経営審議会）、結城委員（教育研究委員会[米短大]）の2名が議事録署名人に指名された。

5 協 議

(1) 米沢女子短期大学の魅力向上に向けた今後の取り組みについて

事務局から協議資料1により説明がなされた。

宮原委員から、魅力を伝える前にまず、米短を受けようとする学生たちにとっての、米短への憧れに通ずる「魅力をどう作り込むか」という議論がもう少し前段であっていいのではないかと。流れとしては魅力を作り込んだ次にどうやって伝えるかという取組みの話になるのでは。魅力の作り込みには、大学の魅力もさることながら、教員一人一人の魅力が大事であり、先生方のシーズ集等をどんどん発信して、社会とコミュニケーションとっていくことが欠かせないとの意見があった。阿部理事長から、魅力向上検討会議では、「米短は本当は非常に魅力的なのに、それを十分伝えきれてないのではないかと」ということから議論が始まっており、その流れで報告書がま

とめられている。ご指摘の点は今後の課題としておっしゃる通りで、学内の将来構想検討委員会でも、「伝えていく」努力と同時に、伝えるべき「中身」の魅力そのものも高めていかなければならないと考えており、地域連携の強化という結論に至ったとの説明があった。

黒田（三）委員から、十年ほど前に、現在の状況を予測の上で四大化推進についての提言書と計画書をまとめて提出した。これまでも折に触れ、短大の魅力は十分に伝えてきたはずだが、それでも存続が難しい勾配になってきている。もし米短がなくなれば地域経済にも大きな打撃を与えるものであり、とにかく存続することが最重要。どうしたら存続できるかを第一義的に考えた結果として、男子も受け入れて（今まで通り）短大で行くということであれば、県内の18歳人口が減少する状況下において、どのような戦略を持って県外、全国、或いは海外から受験者を連れてくる考えか、どういう戦略で存続が可能と考えているかを示すと同時に、尖った魅力をどういうところに持っていこうとしているのかを示していただきたいとの質問があった。阿部理事長からは、四大化については、少し積極的に検討するよう魅力向上検討会議からも意見をいただいたことを踏まえつつも、ハードルが高い部分もあり、先生方や県とも協議等が必要と考えているとの発言があった。また、志願者の動向や共学化、さらには今後の短大の魅力を考えていく上で、社会情報学科に関する学問領域、特に地域との連携が重要であるとして、社会情報学科を強化していく考え方に立って動き始めているが、具体のカリキュラムの内容については、検討が始まったばかりなので、いただいた意見なども参考にさせていただければとの説明があった。黒田

（三）委員からはさらに、とにかく短大・四大と言う以前に、本当に学生を確保できるようなことを戦略的に考えられないとダメだということは皆さん感じていることだと思うので、ぜひみんなで力を合わせてやってまいりましょうとの発言があった。

結城委員からは、今回示された施策を着実に実施していくということの大前提としつつ、これからは高校生が受験しに来てくれるのを座して待つだけではなく受験生を高校に迎えに行く、例えば高校に学長が直接訪問して校長先生に働きかけることや、入試担当の教職員が出来るだけ沢山の高校訪問をして、高校の入試担当教員に働きかけをするというようなことが必要な時代に入ってきたのではないかと。また、カリキュラムに関して、（米短は）文科系の短大ではあるが、現在ICTリテラシーの教育が、学生にとっても卒業生を受け入れる社会の側からも切実に求められていることから、副専攻と絡めてデータサイエンスやAIの教育の充実を図ってほしいとの意見があった。これに対し阿部理事長からは、今後、例えば入試について、少し新たな展開を考えながら（高校へ）行きたいと思う。カリキュラムについては、提言いただいたITの活用に関わる科目を副専攻として作るようなアイデアも、社会情報学科と話をしていきたいとの発言があった。

黒田（充）委員からは、（米短の）良い魅力をきちんと分析していると思うが、いつ移行するかは別としても、四大化の検討は即時的に始めるべき、短大が持たなくなってきたから検討を始めたのでは間に合わない。現在大学でも、一気に人口が減る2035年に向けて、抜本的な変化を視野に入れた検討が始まっているところである。四大化の検討に際しては、単に短大の延長線上に四大があるというのではなく、大学院教育まで含めた専門分野を持つような、学問分野のしっかりした四大の構想を今から計画しておく必要があるとの意見があり、阿部理事長からは、四大化に向けた検討にあたっては設置者とも相談していく必要があるが、御意見は重く受け止めたいとの発言があった。

加藤委員より、「地域との連携」に関連して、現在実施している事業に学生の目線を取り込みたい、9月には米沢市内のものづくりの現場を見に行く「オープンファクトリー」を実施し、立

ち上げの段階から学生に入ってもらったが、市内の米織、木工、モノづくりの企業の工場を見て、企業を知って、そこでどういう動きがあるかということを知ると、就職だけではなくて色々な意味で刺激になる。高校生の地元就職を進めるために、1年生の段階から地元の企業紹介を実施しているが、そのときに学生の目線で見たらどういうところに入りたいか、何らかの形でうかがえれば。また、買い物が非常に大変で、学生の生活の質の問題になっている。米沢市も取組みを行ってはいるが公共交通網が弱い。町内会が非常に協力してくださっていることから、地元に着した形の非常にいいコミュニケーションがとれているが、これを町内だけではなくもう少し市内などに広げていきたいとの発言があった。阿部理事長から、通町町内会や松川コミセンの方から非常に助けていただいている。地域との連携を様々な形で強めていきたいと考えており、オープンファクトリー等にも学生が参加しているが、なかなかそれを皆さんに知っていただけておらず、(今回の魅力向上のための取り組みとして)広報も(体制強化を行う)ということになった。交通については、近隣スーパーも無くなり非常に大変だが、皆さんと一緒に頑張って、まだまだ声を上げていかなければならないと思っているところ。商工会議所の方にもぜひまたサポートをお願いしたいし、学園都市推進協議会は、なかなか他の都市にはないものであり、三大学にとっては非常に重要なツールなので、今後とも学生にも事業参加を呼びかけていきたいとの発言があった。

清野委員から、今後の取組みの方向性として、「地域・行政との連携強化」が示されているが、魅力向上検討会議からの報告書は、「米沢市」を中心とした記載が多くなっている点について指摘があり、今後のあり方を考える場合には、広い視野をもち、米沢市との連携にとどまることなく、県内全市町村とは言わないまでも置賜地域周辺市町等との連携の視点は必要であろうとの意見があった。これに対し阿部理事長からは、米短の卒業生や米沢商工会議所、米沢市役所の方に魅力向上検討会議の委員をお務めいただいたことや、「地元で愛される」ということを大事にしてきた我々の思いを受け止めていただいた結果、報告書に「米沢市」という表現が頻出したのではないかと思われるが、その一方で、県立大としての県内の他自治体等との連携について他の会議でもご指摘をいただいております、今後何かを考えられればとの発言があった。

続いて黒田(三)委員から、SNS等を使った魅力の発信にかかる効果として、栄養大のokirakuキッチンの取組みをSNSで見かけてぜひ自分も参加したいと思い、栄養大に進学したという学生のケースの紹介があった。阿部理事長からSNSはこれまで、「ほぼ公式」のアカウントを運用し情報発信を行ってきたが、若い人の目には「ほぼ公式」の標榜が逆に怪しく感じるという意見をいただいたことから、公式アカウントの運用に向けた準備を進めている。今の中高校生はとにかくSNSで情報を得ているということもあるので、それこそokirakuキッチンのような魅力的なコンテンツを、短大でも発信できるようになればとの発言があった。

その後事務局より今後の進め方について説明のうえ、各審議会ごとに採決を行った。

まず、経営審議会委員に対し採決を求めたところ、全員異議無く賛成となった。

続いて教育研究審議会(米短大)委員に対し採決を求めたところ、全員異議無く賛成となった。

7 その他

(1) 今後の審議会の開催日程について

事務局より、次回は3月3日に合同審議会開催予定である旨の事務連絡がなされた。

【配付資料】

○協議資料 1 米沢女子短期大学の魅力向上に向けた今後の取り組みについて

議長 理事長(兼)学長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____